

令和6年7月 16 日提出

図書館シンポジウム

標記について、次のとおりお知らせします。

日 時	令和6年8月24日(土) 13時30分～15時30分
場 所	諫早図書館 2階 視聴覚ホール
内 容	1 名称 諫早図書館 シンポジウム「諫早市に図書館が生まれて120年～地域の発展とともに歩む図書館～」 2 定員 120人 ※要申込 応募者多数の場合は抽選・諫早市民優先 3 申込 諫早図書館カウンター、電話(0957-23-4946)、電子申請 4 申込期間 7月23日(火)～8月6日(火) 5 概要 諫早図書館の前身である私立「諫早文庫」創設から120年。先人の意志を受け継ぎ「地域の発展とともに歩む図書館」をキーワードにシンポジウムおよび関連企画を実施します。 6 内容 公演 ひとり語り「天語り・市川森一古事記」 柴田 美保子さん(女優、脚本家・故 市川森一氏のご令室) 講演 「諫早図書館のあゆみ」 中古賀 葉子さん(諫早図書館利用者団体連絡協議会代表) シンポジウム 「地域に貢献する図書館」 7 主催 諫早市、自治総合センター 8 関連企画 「野口寧斎」関連資料展 8月16日(金)～9月18日(水) 諫早図書館 1階 エントランスホールおよびふるさとの文人コーナー 「世界の子どもの本」展 8月23日(金)～28日(水) 諫早図書館 1階 展示ホール
問い合わせ先	諫早図書館 担当:中島 電話番号:0957-23-4946(内線 78-109)
担当課	同上
備 考 (記事解禁日等)	

諫早図書館 シンポジウム

諫早市に図書館が生まれて120年
～地域の発展とともに歩む図書館～

参加
無料

令和6年

8月24日(土)

13:30～15:30

諫早図書館2F 視聴覚ホール

公演 ひとり語り「天語り・市川森一古事記」

柴田 美保子 (女優・脚本家・故 市川 森一氏のご令室)



柴田 美保子

講演 「諫早図書館のあゆみ」

中古賀 葉子 (諫早図書館利用者団体連絡協議会代表)

シンポジウム 「地域に貢献する図書館」

定員120人

※定員を超えた場合は
抽選・諫早市民優先

申込み
期間・方法

期間 令和6年7月23日(火)～8月6日(火)

方法 諫早図書館カウンター、
電話、電子申請

【QRコード参照】▶



諫早市に
図書館が生まれて
120年
～これからのまちとともに～



関連
企画

「野口寧斎」関連資料展

8月16日(金)～9月18日(水)

場所 エントランスホールおよびふるさとの文人コーナー

「世界の子どもの本」展

8月23日(金)～8月28日(水)

場所 諫早図書館1F 展示ホール

【問い合わせ先】 諫早市立諫早図書館 TEL 0957-23-4946

【主催】 諫早市、一般財団法人自治総合センター

諫早図書館シンポジウム

「諫早市に図書館が生まれて120年
～地域の発展とともに歩む図書館～」

ねい さい
野口寧斎

慶応3(1867)年生

諫早郷学校「好古館」教授であった野口松陽の長男として誕生。その後、明治政府の官僚となった父とともに上京し、文学の道に進んだ寧斎は、伊藤博文・乃木希典・渋沢栄一ら時の政財界人・軍人等に漢詩の指導を行うようになり、漢詩界中興の祖と呼ばれました。

郷土への思いも強く「地方にこそ図書館が必要」と呼びかけ、その声に応じたふるさと諫早の有志者たちにより、明治37(1904)年、私立「諫早文庫」が創設されました。当時、まだ書籍は書庫に収蔵するのが普通だった中で、その設立趣意書には、集めた書籍を「永久的に公衆閲覧に供する(広く人々に自由に読んでもらう)」という文言が記されています。その後、大正7(1918)年、北高来郡立諫早図書館が設置され、現在に至っています。



ひとり語り

『天語り・市川森一古事記』

日本を代表する脚本家であり、本館名誉館長であった故市川森一氏は、平成17(2005)年からNHKのラジオドラマとして3年間にわたり『古事記』を執筆放送。氏は『古事記』に対する思いを次のように語っています。



『古事記』には、広い意味での私たちの祖先の生きざま・有り様、考え方が書かれている。それは今の私たちに受け継がれて、文化・芸術・芸能・生活・思想などすべてのものになっている。この日本人の原点が書かれている『古事記』から、今の私たちは改めて学ぶことが多くあるのではないかな。そして、このような長い歴史を持っている日本という国に日本人としての誇りをもってほしい。また、『古事記』を通して、すべての生き物や森羅万象に対して謙虚になり、この日本や地球を大切にしてほしい。『古事記』は日本最古の歴史書であるとともに、ファンタジー性にあふれた文学書でもある。ぜひとも、ドラマや舞台化して、子どもから大人まで楽しんでもらいたい。

柴田美保子さんは、氏の思いを受け継ぎ、ひとり語り「天語り・市川森一古事記」として舞台化し、たくさんの皆さんに見てもらおうと、これまでさまざまな場所で公演を続けていらっしゃいます。

進行 河野律子さん エフエム諫早・パーソナリティ

毎月第二金曜日9:30～「図書館の宝の地図」で、図書館ボランティアをゲストに迎え、紹介。

毎週火曜日13:34～「本の森」では、図書館員のお勧め本を紹介。

その他、諫早図書館講座(公開収録時)を放送したり、図書館のイベント情報を発信したり、図書館の力強い応援団の一人です。